

- 1 短期間で広範囲にわたって積み重なるため、離れた場所の地層が同じ時期にできたものか比較する際、基準となる地層を何という？
- 2 マグマが噴火によって空中に放出され、それが積み重なってできる、粒の角がとがった特徴を持つ岩石を何という？
- 3 火山岩の組織のうち、大きな結晶のまわりにある、小さな結晶が集まった部分のことを何という？
- 4 地層ができた当時の年代を判断する手がかりとなる化石を何という？
- 5 火山から勢いよく噴出した細かな破片が堆積し、長い時間をかけて固まってできた堆積岩のことを何という？
- 6 火山活動によって噴出し、広い範囲に短期間で堆積したため、地層の比較や対比に役立つ層を何という？
- 7 サンゴや貝の死骸が積み重なり、固まってできた岩石で、塩酸をかけると二酸化炭素が発生するものを何という？
- 8 噴火の際にマグマの気体が急激に膨張し、飛び散った破片が冷えて固まったものを総称して何という？
- 9 サンゴや貝殻などの生物の死骸が堆積してできる、塩酸をかけると反応する物質を主成分とする岩石は何からできている？
- 10 地震の波のうち、進行方向に沿って地面を押し引きする形で進む波を何という？
- 11 マグマが地下深くでゆっくりと固まることで形成される、白っぽい色調が特徴の代表的な岩石は何？
- 12 火山岩の斑状組織において、石基の中に含まれる、比較的大きく成長した結晶のことを何という？
- 13 火山灰層が地層の対比に役立つとき、特に基準となる地層を指して何という？
- 14 川から海へ流れる水が急に広がる河口付近において、粒が最も大きいものから順に堆積していくが、その最初の成分を何という？
- 15 火山岩特有の、大きな結晶と小さな結晶からなる組織を何という？
- 16 浅い海に生息し、かつてその場所が温かい環境であったことを推測させるのに用いられる化石を何という？
- 17 左右から押される力が加わることで、岩盤がずれてできる地形を何という？
- 18 地層ができた当時の、環境を推測するために役立つ化石を何という？
- 19 地震において、最初の小さな揺れが始まってから、大きな揺れが始まるまでの時間を何という？
- 20 地球内部で地震が起きた場所の真上にあり、地表に最も近い地点を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	鍵層 は、広範囲に同時に堆積するため、遠く離れた地点の地層を比較する際の「時代の手がかり」となります。		鍵層	☐
2	凝灰岩 は火山砕屑物が主成分の堆積岩です。		凝灰岩	☐
3	石基 は、火山岩の内部構造の一つです。		石基	☐
4	示準化石 は、広い範囲に分布し、かつ特定の短い期間にだけ生息していた生物の化石です。		示準化石	☐
5	火山灰は噴火によって噴き上げられ、風に乗って遠方まで運ばれることもあります。これらが重なり、地層として蓄積したものが 凝灰岩 です。		凝灰岩	☐
6	火山が噴火した際、火山灰などは風に乗って広い範囲に一気に降り積もります。このような堆積層を 鍵層 と呼びます。		鍵層	☐
7	石灰岩 は、サンゴの遺骸や貝殻などが固まったもので、主成分は炭酸カルシウムです。		石灰岩	☐
8	火砕物 はその大きさによって細かく分類されます。		火砕物	☐
9	炭酸カルシウム は化学式 CaCO_3 で表される無機化合物です。		炭酸カルシウム	☐
10	地震波には大きく分けてP波とS波があり、P波は 縦波 と呼ばれます。		縦波	☐
11	花こう岩 は、長石や石英などの鉱物が混ざり合い、全体として白っぽい色をしているのが特徴です。		花こう岩	☐
12	斑晶 は、溶岩の急冷前に成長していた結晶です。		斑晶	☐
13	そのため、離れた地点の地層を対比させる際に非常に有効な手がかりとなり、こうした地層を 鍵層 と呼びます。		鍵層	☐
14	粒の大きいものから順に「 れき （礫）」、砂、泥という順番で堆積します。		れき	☐
15	斑状組織 は、先行してできた「斑晶」と、後の急冷によってできた「石基」が混在するつくりです。		斑状組織	☐
16	サンゴ は、主に温かく浅い海でしか生きることができないという特徴があります。		サンゴ	☐
17	逆断層 は、地殻が左右から強く圧縮されることで発生します。		逆断層	☐
18	示相化石 は、特定の環境にしか生息しない生物の化石を指します。		示相化石	☐
19	P波とS波は伝わる速さが異なるため、震源から遠くなるほど、この2つの波が到達するまでの時間差が開いていきます。この時間差を 初期微動継続時間 と呼びます。		初期微動継続時間	☐
20	地震のエネルギー源である震源の真上に位置し、地表において震源から最も近い場所を 震央 と呼びます。		震央	☐

言えなかった用語ノート